

たはら 探訪 歴史クラブ 其の71

TAHARA History Inquiry Club

家康と渥美半島

徳川家康（1542～1616）は戦乱の世を統一し、長く続いた幕藩体制を確立した人物です。幕藩体制の確立は、数ある戦国武将が誰もなしえなかった偉業です。同じ時代を生き抜いた織田信長、豊臣秀吉と比較され、歴史に興味のない人たちでも知っている、歴史上最も有名・尊敬される人物と言えましょう。

家康は亡くなってから、「東照大権現」という神として祀られました。天下統一を果たした偉大なる力に、「神」としての期待があったからでし



家康 田原攻めの本陣(長仙寺)

よう。そのため、この渥美半島にも家康ゆかりの史跡、そして言い伝えが数多く残っており、有名人好きの私としては、家康の渥美半島での足跡を皆さんにお知らせしたくなってしまったのです。

まずは有名な竹千代強奪事件からお話ししましょう。

第4代田原城主・戸田宗光は、人質として今川方に送られる途中の松平竹千代（家康）を奪い、今川に敵対していた織田信秀（信長の父）に渡しました。これにより、田原城は今川義元に攻められ、天文16年

（1547）、田原戸田氏は滅亡しました。もし予定どおり家康が今川方に送られていたら、織田、今川の情勢は変わったばかりでなく、信長、秀吉、家康のような人物が世に出なかつたかもしれません。良くも悪くも日本人的な気質は、江戸時代という家康によってつくられた時代にその根底がありますので、現在のようないかなった代にはなつていなかったでしょう。日本の歴史の運命を変えたこのような事件の

仕掛け人が田原城の城主だったなんて、面白いですね。

田原城はこの後、今川方のものとなりました。家康はこの際の「田原城攻め」のために、田原に来ています。家康は蒲郡から舟で吉胡に上陸し、蔵王山の山ろく沿いに兵を進め、本多広孝が築いていた加治砦（加治町取手周辺）に入りました。そして、六連町の長仙寺を本陣とし、田原城攻めの指揮を執りました。この長仙寺では厄払いと戦勝祈願も



『田原町史 上巻』より

したようです。家康はまだ若き24歳でした。そして永禄8年（1565）、家康は田原城を手中に収めました。

また、平成18年7月号にも書きましたように、家康は天正13年と15年に、巻狩りを行うために渥美半島を訪れています。…つづく（増山）

お詫びと訂正

平成18年12月号、伊良湖村の庄屋「六左衛門」は「六郎左衛門」の誤りでした。訂正させていただきます。

文化財課 23局3531